

経済・金融  
フラッシュユーロ圏失業率(2025年9月)  
ー失業率は6.3%で横ばい推移

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

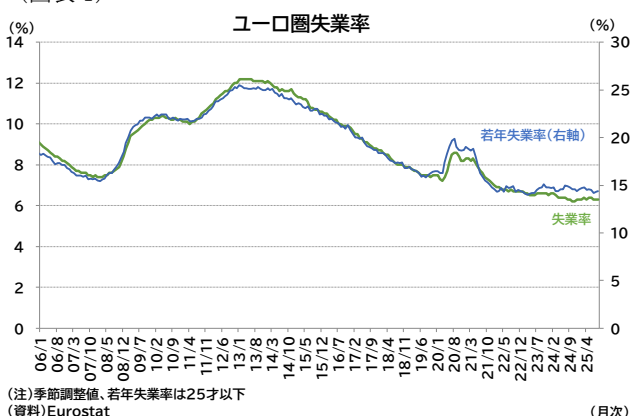
## 1. 結果の概要: 全体の失業率は6.3%

10月30日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

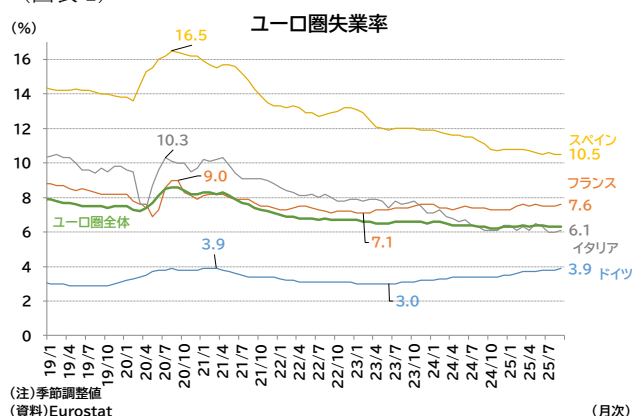
【ユーロ圏失業率(20か国、2025年9月、季節調整値)】

- ・失業率は6.3%、市場予想<sup>1</sup>(6.3%)と一致、前月(6.3%)から横ばいだった(図表1・2)
- ・失業者は1100.3万人となり、前月(1093.8万人)から6.5万人増加した

(図表1)



(図表2)



## 2. 結果の詳細: 若年失業率は若干悪化

ユーロ圏(20か国)の9月の失業率は6.3%となり、8月(6.3%)から横ばいで推移した。なお、過去データはわずかに悪化方向に改定された(7月6.2%→6.3%、6月6.3%→6.4%)。

失業者数は9月の前月差で6.5万人増と8月(+2.9万人)に続き2か月連続の増加となった。主要4か国ではドイツ(1.5万人)、フランス(3.1万人)、イタリア(3.2万人)が増加する一方で、スペイン(▲0.6万人)が減少した。失業者数はコロナ禍前より67万人少なく、スペイン(コロナ禍前比▲70万人)が大きく、次いでイタリア(同▲29万人)が減少に寄与している。一方、ドイツやフランスはコロナ禍前よりそれぞれ29万人、18万人失業者が多い(図表3)。

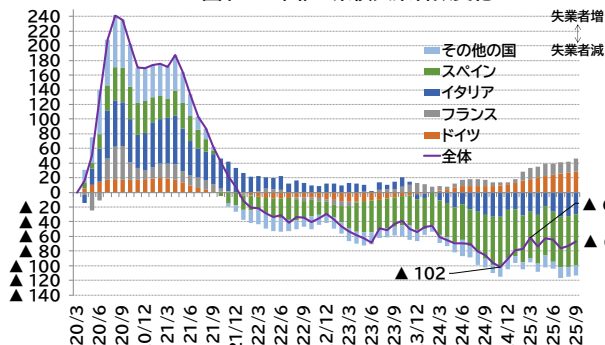
9月の若年失業率は14.4%となり、8月(14.3%)からやや上昇した。なお、若年失業率については過去データが大幅に悪化方向に修正されている(8月14.0%→14.3%、7月14.0%→14.2%、6月14.4%→14.5%)。若年失業者数は9月で228.2万人(前月差2.3万人)と8月までは3か月

<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

連続で減少していたが、増加に転じた。若年失業者数の水準はコロナショック直前（20 年 3 月の 234.6 万人）を下回っている（図表 4）。

（図表 3）

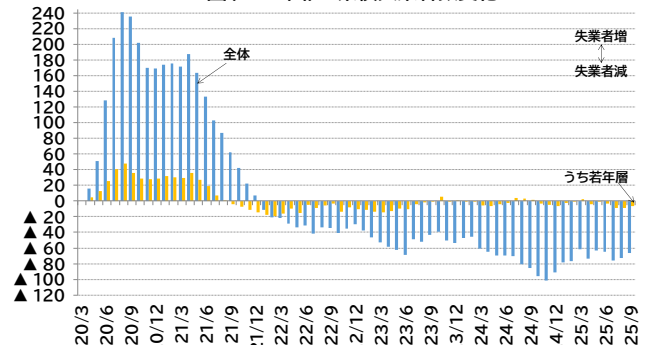
（基準差、万人） ユーロ圏(20か国)の累積失業者数変化



（注）季節調整値、「コロナショック（2020年3月）」からの累積人数  
（資料）Eurostat

（図表 4）

（基準差、万人） ユーロ圏(20か国)の累積失業者数変化

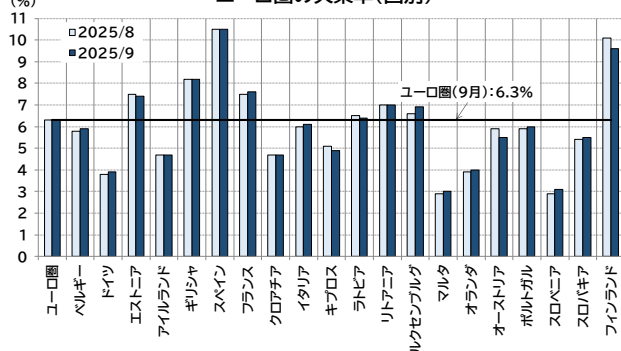


（注）季節調整値、「コロナショック（2020年3月）」からの累積人数  
（資料）Eurostat

国別の 9 月のデータを見ると、失業率は公表されている 20 か国中、悪化した国が 10 か国、改善が 5 か国、横ばいが 5 か国だった（図表 5）。若年失業率は、公表されている 20 か国中、悪化した国が 11 か国、改善が 4 か国、横ばいが 5 か国だった（図表 6）。

（図表 5）

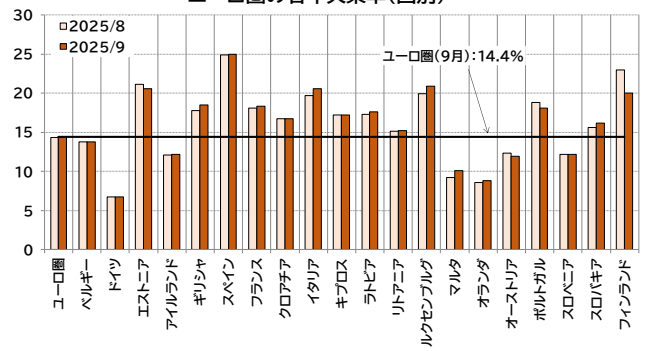
ユーロ圏の失業率(国別)



（資料）Eurostat

（図表 6）

ユーロ圏の若年失業率(国別)

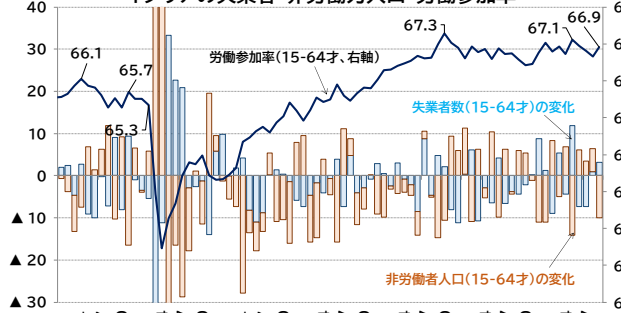


（資料）Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者と就業者が増加し、非労働力人口が減少したため労働参加率がやや上昇した（図表 7）。ポルトガルも失業者と就業者が増加、非労働力人口が減少したため労働参加率が増加した（図表 8）。ポルトガルの労働参加率はコロナ禍後の最高値を更新した。

（図表 7）

（前月差、万人） イタリアの失業者・非労働力人口・労働参加率

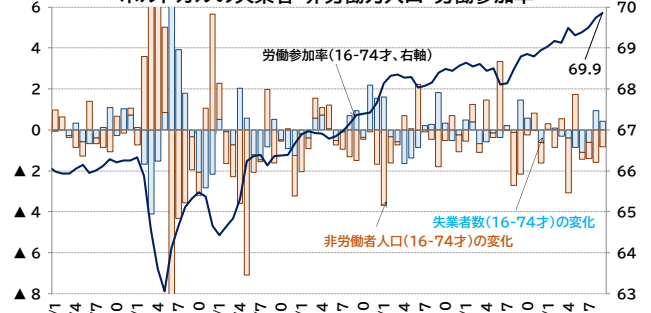


（注）季節調整値  
（資料）ISTATのデータをDatastreamより取得

（月次）

（図表 8）

（前月差、万人） ポルトガルの失業者・非労働力人口・労働参加率



（注）季節調整値  
（資料）ポルトガル統計局

（月次）

本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。